

令和7年度 家庭教育力向上推進事業についての調査表

【別紙②】

事業名	事業概要	実績	今後の事業予定	事業実施に対しての課題	所管課
家庭教育学級	家庭教育力の向上や、家庭における豊かな心を育てるための知識の習得を目的とし、区民を対象とする学級で、幼児コース、小学生コース、小学生親コース、小・中学生親コースを開催する。	令和3年度…4コース10回実施 令和4年度…6コース13回実施 令和5年度…6コース14回実施 令和6年度…6コース14回実施 令和7年度…7コース16回実施	令和8年度は、12回実施予定。	・講座の周知について、コースによっては北区ニュースへの掲載だけでは応募が集まらず、検討が必要である。対象の世代に応じた周知方法を検討する。 ・電子申請を取り入れることで、応募は増加したが、キャンセル数も増加している。正確な受講者の数の予測が困難。 ・コロナ以降、保育事業を行っていなかったが、受講者からは必要を求める声があり、令和7年度は保育事業を復活させた。しかし、キャンセルの多さや対象年齢など課題も多く、引き続き検討が必要である。 ・講演形式のものだけではなく、保護者同士の交流の機会を増やすことができるような講座を企画していく。	生涯学習・学校地域連携課
PTA研修会	「子どもの健全な育成を図る」ことを目的とし、保護者と教員とが協力して、学校および家庭における教育に関し、理解を深め、会員相互が学び合う機会として行っている。	令和7年度 幼稚園・こども園P連 会員研修会「デジタル社会と子育て～考えること、やってみること」 小・中学校P連 役員研修会、副会長研修会	令和8年度 幼稚園・こども園P連会員研修会、小・中学校P連 役員研修会、副会長研修会（R7年度と同様に開催予定）	・日中、仕事があり、研修会の開催自体が負担になっている役員もいる。開催時間（日中・夜間）、曜日（平日・休日）、開催方法（対面・オンライン）等、ニーズに合わせて検討していく必要がある。 ・幼稚園の数が減少するため、連合会としてのあり方、事業内容について検討が必要。	生涯学習・学校地域連携課
ブックスタート	3～4か月児検診時に赤ちゃんとお母さんの出会いを支援するため、赤ちゃんとお母さんに絵本の読み聞かせを行うとともに2冊の絵本などが入ったブックスタートバックを配布する。	令和3年度…71回実施、参加者数2,535 令和4年度…72回実施、参加者数2,445 令和5年度…72回実施、参加者数2,384 令和6年度…72回実施、参加者数2,449 令和7年度…72回実施予定 参加者数1,853名（令和7年12月末現在）	R8も引き続き72回実施予定。		中央図書館
ブックスタート フォローアップ事業	乳幼児と保護者に、図書館や地域会場で絵本サロンやおはなし会等を開催する。	令和3年度…117回実施、参加者数2,353 令和4年度…155回実施、参加者数3,138 令和5年度…161回実施、参加者数3,558 令和6年度…188回実施、参加者数4,068 令和7年度…約200回実施予定 参加者数5,034名（令和8年度1月末現在）	R8も引き続き同程度実施予定。		中央図書館
3歳児絵本プレゼント	3歳児を対象に、図書館で絵本1冊と専用バッグを配布する。	令和3年度…2,010名 令和4年度…1,856名 令和5年度…1,848名 令和6年度…1,664名 令和7年度…実施中（令和8年1月末現在1,215名）	R8も引き続き同程度実施予定。		中央図書館
親育ちサポート事業	乳幼児を育てる親を対象に、参加者同士が抱えている悩みや関心事を共有し、協力しながら自分に合った子育ての仕方を共に学ぶ場を提供し、親がいきいきと自信を持って子育てできるよう支援するため、親育ちサポート講座「ノーバティーズ・パーフェクト・プログラム（NPプログラム）」を実施する。	令和4年度…17児童館・子どもセンターにて17講座を実施（参加者 親138名、子（託児）149名） 令和5年度…16児童館・子どもセンターにて16講座を実施（参加者 親128名、子（託児）132名） 令和6年度…15児童館・子どもセンターにて16講座を実施（参加者 親131名、子（託児）146名） 令和7年度…20児童館・子どもセンターにて20講座を実施中	令和8年度は20講座実施予定	・講座の周知について、北区ニュースへの掲載及び各児童館・子どもセンターでの周知だけでは応募が集まらず、検討が必要である。	出産・子育て支援担当課
未来の親を育てようプロジェクト	「赤ちゃんとおふれあおう！」区立保育園や区立子どもセンター等で、中学生が赤ちゃんとお接する機会を設け、健全な母性、父性意識を育む。	令和3年度… 4館・センターで実施 令和4年度… 7館・センターで実施 令和5年度… 16館・センターで実施 令和6年度… 17館・センターで実施 令和7年度… 18館・センターで実施	職場体験の中で実施していく予定。 一部、施設については、中学校の家庭科の授業と連携させたプログラムを実施している。	保護者の理解や学校との調整、時間のマッチング、継続した活動展開が課題	子どもわくわく課
きたコン活用による学習支援	国が掲げたGIGAスクール構想により、R3年度以降北区立全小中学校の児童・生徒に学習用端末（愛称「きたコン」）が、配備された。北区は、有事等により学校へ登校出来ないケース及び学校での学習の復習及び予習に活用するため、自宅への持ち帰りを推奨している。R6年度末には学習用端末の更新を行い、従前よりも重量を軽くし、さらにタッチャブルタイプとすることで、教室内だけでなく教室外での使用（タブレットモード）にも配慮した。	令和2年度・・学習用教材「スタディサプリ（小学4年～中学3年）」「eライブラリ（ドリル教材）」を配付 令和3年度・・きたコン配付 令和4年度・・スタディサプリの対象学年を小学3年まで拡大 令和5年度・・スタディサプリのログイン数及び利用時間について、減少に転じていることや経費の上昇が確定したため、R5年度末で児童・生徒への一律のアカウント配付を終了予定。 またこの間、スタディサプリと類似するアプリとしてeboard及びeライブラリを導入しており、スタディサプリ終了後は、このアプリを中心に学習支援を行う。 令和6年度・・スタディサプリの利用を終了。引き続きeboard及びeライブラリを中心に学習支援を行う。 令和7年度・・授業支援ツールについてスクールタクトを終了しロイロノートへ統一、ドリル教材について、eライブラリを終了予定。	令和8年度・・前年度に終了したeライブラリからミライシードに変更しドリル教材及びテスト対策を強化し特に中学校での活用を促進及びパトロール実施による学習とは関係ないサイトへのアクセスブロックを行う。 生成AIの利用について、ガイドラインを含め、見直しの予定である。	本来きたコンは学習等に使用することを前提としているが、特に家庭内では学習とは関係のないサイトの閲覧やゲーム等をするケースが後を絶たない。これまでもパトロールの実施や学校や保護者からの連絡により、サイトへのアクセスをブロックしているが、少しずつ効果が上がっているものの、リテラシー教育を含めさらなる啓発活動が必要かと考える。	学び未来課
北区きずなうた	家庭や地域における子どもと保護者、子どもと地域の大人など、様々な人と人とのきずなを深め、家庭教育力の向上に関する取組みが充実していくことを期待して提案している事業。 （イメージ）短歌の、上の句と下の句を子どもと保護者、あるいは子どもと地域の大人が作って、組み合わせたもの（テーマ）子どもが保護者や家族、地域への想いを表現し、保護者や家族、地域の大人が子どもへの想いを表現したもの	地区委員会の野外活動事業として実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年から実績なし。（令和元年…1件）	引き続き、地区委員会に対して、事業実施を依頼する。	コロナ禍の影響により、地区委員会、地域の方々にとっても認知度の低い事業になっている。改め事業内容を周知していく必要がある。	生涯学習・学校地域連携課
北区版家庭学習のすすめ	家庭での学習習慣づくりのために、保護者が子どもたちとどのように関わると良いか等、家庭での子どもたちへの学習支援の参考として活用することができる内容を「家庭学習のすすめ」として小冊子等にまとめ、北区立小・中学校、義務教育学校に通う、全児童・生徒の家庭に配布する。	令和5年度…北区立小・中学校 第1学年児童・生徒家庭へ配布 令和6年度…北区立小・中学校 第1学年児童・生徒、義務教育学校第1学年児童、義務教育学校第7学年生徒家庭へ配布 令和7年度…北区立小・中学校 第1学年 児童・生徒、義務教育学校 第1学年 児童、義務教育学校 第7学年 生徒家庭へ配布	令和8年度は、北区立小・中学校 第1学年 児童・生徒、義務教育学校 第1学年 児童、義務教育学校 第7学年 生徒家庭へデジタル版をきたコンを通して配信する。	・北区GIGAスクール構想により、北区立小・中学校の児童・生徒に一人1台端末が貸与された。このことから、本端末で利用できるソフトウェアを活用した家庭学習の具体的な取組等を追記する必要がある。	教育指導課
区民講座 テーマ「家庭教育」	子どもを育てる保護者を対象に、子育てに関する知識を深め保護者同士相互に学びあえる機会を提供する。また子育てに関する情報交換や課題解決のヒントが得られるようなテーマと内容で実施する。	令和7年度 ・中央公園文化センター…1講座2回（3月に3回目を実施予定） ・赤羽文化センター…1講座1回 ・滝野川文化センター…4講座5回（3月に1講座1回実施予定） 計6講座8回実施、参加者数延べ147名	令和8年度は、令和7年度と同程度、実施予定。	・講座の周知課題について北区ニュースやHP、X（旧Twitter）以外にもチラシを子育て世代が利用しそうな公共施設へ送付し配架を依頼した。 ・参加率向上のため子育て世代が参加しやすい曜日や時間帯をアンケートで聴取し、講座開催日時を設定する際の参考にした。 ・申込方法をはがきや電話、窓口だけではなく、インターネットから申込フォームで申込ができるようにし、申込方法の選択肢を増やした。	生涯学習・学校地域連携課（中央公園文化センター・赤羽文化センター・滝野川文化センター）